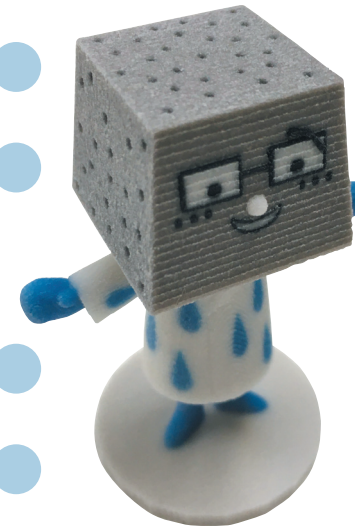




Hokkaido
Poracon
Co., Ltd.



北海道ポラコン株式会社
Hokkaido Poracon Co., Ltd.



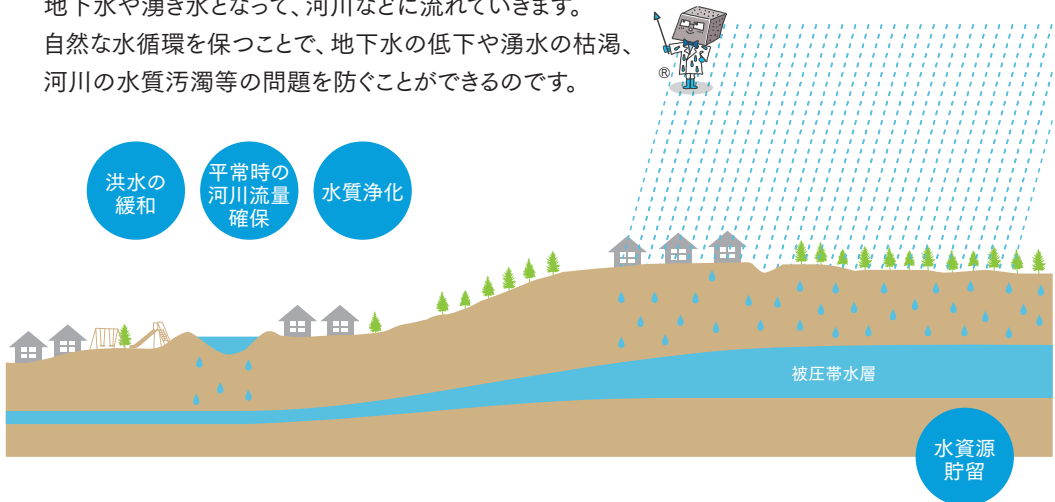
人と水との共存

「水」。それは地球をつかさどる生命の源。
海水が蒸発して雲を生み、
雨や雪が地表に降り川から海へとかえる循環の中で、
私達の暮らしが存在しています。
人々に潤いをもたらし、あらゆる生物をはぐくむ「水」。
地球環境が変化する今、
「水」の循環をコントロールすることは未来の命をつなぐこと。
北海道ポラコンは人と水との共存を技術で支え、
地球の明日に貢献しています。



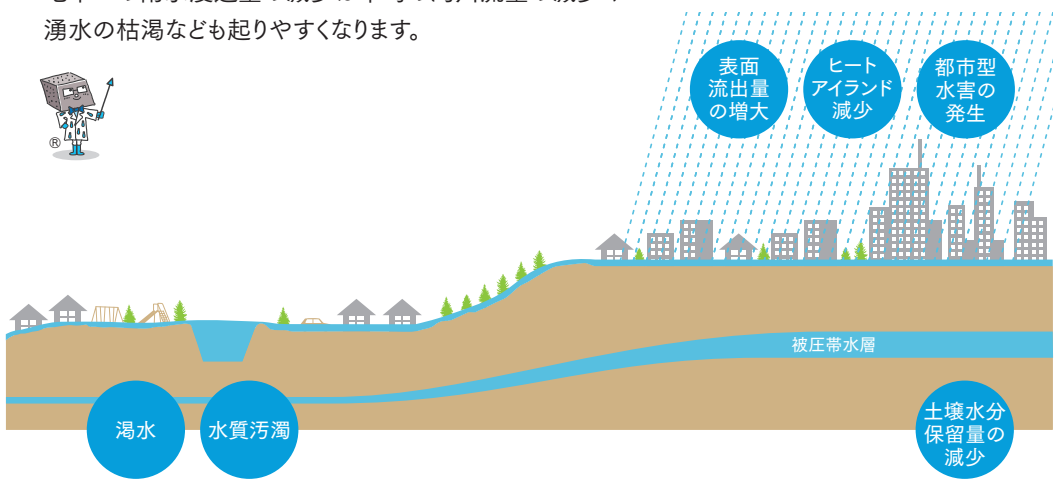
自然な水循環 (地面の保水と浸透能力が大きい)

地球上に存在するわずか2.6%ほどの淡水は雨水によってもたらされ、地下水や湧き水となって、河川などに流れていきます。自然な水循環を保つことで、地下水の低下や湧水の枯渇、河川の水質汚濁等の問題を防ぐことができます。



水循環の乱れ (市街化による地表流出量の増大)

都市化の進展は一方で、都市型水害を誘発させ、道路の冠水や河川の洪水被害などが頻発しています。地中への雨水浸透量の減少は平時の河川流量の減少や湧水の枯渇なども起りやすくなります。



都市の水循環をコントロールする 北海道ポラコンの技術力

雨水貯留浸透工法は、水循環を自然のサイクルに近づけます。それは、洪水の予防だけでなく、漏水対策・河川の水質浄化・ヒートアイランド対策にも効果的です。



スリット入りブロック
(バリアフリー型)
透水性・吸音性・ノンスリップ性に優れていて、雨上がりの水たまりを解消できます。



駐車場用緑化ブロック
芝の生育を促すとともに、雨水の地下還元、都市景観との調和等、多彩な特徴をもち、駐車場等に適しています。



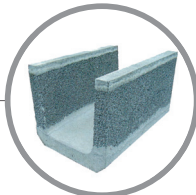
河川護岸用ブロック
河川護岸工事に広く普及している小型連結ブロックです。異型ブロックとの組み合わせによりカーブを巻くことも可能です。

平常時の
河川流量
確保



アクアパレス
プラスチック部材を縦・横に積み上げることができ、大量の雨水を一時的に貯留できます。

多様な
生態系の
確保



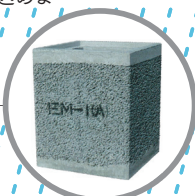
透水コンクリートU型
側面からの集水(浸透とは逆)効果によりポラス最下部まで水位が上がります。



浸透トレンチ管
比較的地下水位に高い場所で地表面近くに浸透させる場合に特に効果を発揮します。浸透柵と組み合わせることでメンテナンスフリーの効果も見込めます。



浸透側溝
側溝底部および側壁部から雨水を浸透させる。地下水の高いところでも採用可能です。



浸透柵
底面だけの浸透だった従来型と違い、底面および側面からの雨水の浸透を実現した製品です。

ヒートアイランド減少の緩和

都市型水害の回避

被圧帯水層

漏水被害の低減



施工実績

- フレスポ・ニッテン新築工事 2004施工
- 函館ホームック新築工事 2005施工
- アウトレットモールRELA新築工事 2006施工
- 明治乳業十勝新工場新築工事 2006施工
- 滝川ショッピングセンター新築工事 2007施工
- 函館港町商業施設新築工事 2007施工
- ジョイフルエーカー帯広店新築工事 2009施工
- プレイランドハッピー函館店新築工事 2012施工
- 木野大通東12丁目造成工事 2012施工
- DCMホームック恵庭物流センター 2015施工
- コメリパワー旭川宮前店新築工事 2015施工



札幌市大通公園 1980年施工

1972年に札幌冬季オリンピックが開催されるにあたり地下鉄工事が進められました。その影響で札幌のシンボルである大通公園付近の地下水位が下がり、植物の育成に影響が出たため、その対策として当社の浸透トレンチ管を大規模に使用して地下水位の回復に成功しました。現在も大通公園では四季折々の植物を鑑賞することができます。





今、都市化の波のなかで

「良い仕事、良い組織、良い社会」

日本は少子高齢化による人口減少という歴史的に見ておそらく初めての時代に突入する一方で、地球温暖化に起因すると思われる気候変動が年々激しさを増し、災害が引きも切らず、我々を取り巻く経済環境および生活環境は厳しさを増しています。そういった時代でも、いやそういった時代だからこそ、一人一人が人間力を増し英知を結集することで、社会にとって不可欠な、必要とされる‘組織体’が生まれていくのだと思っています。当社は社員にとってお客様にとっても社会にとっても‘良い仕事’を提供する中で‘良い組織’を形成し、“良い社会”を創る一翼を担える存在でありたいと思っています。創業以来培った雨水流出抑制のノウハウで‘良い仕事’をしていながらも時代の変化に柔軟に対応し、100年続く企業を目指していきたいと思っています。

北海道パラコン株式会社
第5代 代表取締役社長 中島 康成

私
た
ち
に
で
き
る
こ
と

ポラコン製品は、材料に振動を与えて石と石の間に隙間を作り、
その状態を固めることで完成する。
非常に原始的な製法だが、ひとつずつ人の手によって出来上がっていく様子は
芸術作品を作っているようにも見える。
大きさや種類にもよるが、一人で作れる製品の数には限界があり、決して量産はできない。
この製法が正しいか否かについては様々な意見があることは予想している。
しかし、50年近くにわたり、このこだわりを続けていることには思いと温もりさえ感じる。
そして、多くの場所でその思いは人々や環境を守り、今も生き続けている。
地味ではあるが、その思いの積み重ねが会社の誇り、製品に対する安心に繋がっている。
これからも北海道ポラコンはその精神を大切にして、いろいろな環境や社会の変化に
対応できるよう進化していきたい。





Spirit
スピリット〈精神〉

“誇り”と“誠実”で思いはきっと伝わる。

Vision
ビジョン〈未来〉

変化の時代に対応し社会課題に立ち向かい続けます。

Mission
ミッション〈使命〉

自然と共存し、新しい生活の提案を続けます。

Slogan
スローガン〈合言葉〉

多様性と挑戦。

これまでの歩み

- 1973年(昭和48年) 会社設立 本社事務所開設および営業開始
- 1974年(昭和49年) 工場竣工 作業・生産開始
- 1975年(昭和50年) 資本金4,800万円に増資
- 1977年(昭和52年) 帯広営業所開設
- 1979年(昭和54年) 建設業者(一般土木)登録認可
- 1980年(昭和55年) 鉄筋作業場増設
- 1988年(昭和63年) 建築工事業登録認可
- 1992年(平成4年) 浸透桧作業場増設
- 1994年(平成6年) 第3作業場増設
- 1995年(平成7年) バリオマットVM-I型機導入
透水性インターロッキングブロックおよび平板製造開始
- 1996年(平成8年) 環境ブロック(ビオロック)協議会入会
- 1998年(平成10年) 多品種成型器バイプロプレス機導入
環境保全型河川ブロック製造開始
- 2002年(平成14年) 栗山工場(ブロック工場)増築 新潟営業所開設
- 2004年(平成16年) ブロック自動成型機DE-38導入
- 2006年(平成18年) 資本金3,000万円に変更
- 2008年(平成20年) 北海道洞爺湖サミット記念環境総合展に出展
環境型「エコビルド2008」に出展
- 2010年(平成22年) 中国北京国際省エネルギー環境保全展覧会出展
- 2011年(平成23年) さっぽろエコメンバーに登録
北洋銀行にて第一回無担保社債発行(北洋エコボンド)
- 2016年(平成28年) 北海道銀行にて第二回無担保社債発行(道銀エコ私募債)
北洋銀行にて第三回無担保社債発行(北洋エコボンド)
「BUILD IN MYANMAR 2016」に出展
- 2017年(平成29年) ラインレンジ®(スリット入りブロック)製造・販売開始
コンクリート製品洗浄事業開始
- 2018年(平成30年) R-e株式会社を子会社として設立
- 2019年(平成31年) 帯広営業所移転
- 2019年(令和元年) 北洋SDGs推進ファンドより999万6千円株式出資を受ける

会社概要

浸透工法の技術的な相談や設計依頼を20数年間皆様より承っております。
浸透施設の設計に伴う現地浸透実験(建設省土木研究所手法による)も実施しており北海道内では約200箇所の実績をもち解析データは全て保存しております。実験および解析方法は浸透施設の設計にマッチしており且つ、経済性を考慮したものとなります。

会社名	北海道ポラコン株式会社(Hokkaido Poracon Co.,Ltd.)
本社所在地	〒064-0804 札幌市中央区南4条西6丁目8 晴ばれビル7階
TEL	011-251-4566
FAX	011-251-4689
代表者	代表取締役社長 中島 康成
資本金	3,000万円
創業	昭和48年6月
支店	帯広営業所 〒080-0012 帯広市西2条南7丁目17番2 ハヤカワビル303号室 TEL:0155-20-1030 FAX:0155-20-1031 新潟営業所 〒953-0075 新潟市西蒲区峰岡157-2 TEL:025-673-7071 FAX:025-673-7072
工場	〒068-0352 夕張郡栗山町字大井分272番地 TEL:0123-75-2331 FAX:0123-75-2332
事業内容	①浸透用製品および集水用製品の製造販売 ②透水性、保水性舗装ブロックの製造販売 ③透水性河川ブロックの製造販売 ④浸透施設、集水施設の設計 ⑤現地浸透試験(計画・試験・解析・実施設計)・土質調査 ⑥コンクリート製品洗浄事業 ⑦外構工事事業 ⑧その他土木工事



Hokkaido
Poracon
Co., Ltd.

北海道ポラコン株式会社

本 社

〒064-0804 札幌市中央区南4条西6丁目8番地 晴ばれビル7階
Tel. 011-251-4566 Fax. 011-251-4689

帯広営業所

〒080-0012 帯広市西2条南7丁目17番2 ハヤカワビル303号室
Tel. 0155-20-1030 Fax. 0155-20-1031

新潟営業所

〒953-0075 新潟市西蒲区峰岡157-2
Tel. 025-673-7071 Fax. 025-673-7072

栗山工場

〒068-0352 夕張郡栗山町字大井分272番地
Tel. 0123-75-2331 Fax. 0123-75-2332



ポーラスくん

北海道ポラコン株式会社のキャラクターのポーラスくんです。

僕たちの会社では、均一な連続性空隙を持つポーラスコンクリートによる浸透製品を開発しています。緑地や街路樹の育成を促し、水質浄化や水生動物環境へも対応した理想的な浸透システムを提供します。これからも、ますます社会や世界に貢献できる会社を目指します。